

# 令和4年度日本表面真空学会東北・北海道支部学術講演会プログラム

令和5年3月6日(月), 7日(火)

Zoomによるオンライン形式

3月6日(月) 13:05~18:30

13:05~13:10 開会挨拶

日本表面真空学会東北・北海道支部長(弘前大理工)

藤川 安仁

13:10~13:50 特別講演(40分)

**【S-01】** 薄膜における水素の拡散と水素化物形成—トンネル効果と近藤効果, モット転移  
東京大学生産技術研究所(日本表面真空学会長)

福谷 克之

13:50~16:00 招待講演(30分)

**【I-01】** 単分子の構造, 運動および化学反応を透過電子顕微鏡でとらえる  
物質・材料研究機構

原野 幸治

14:20~14:30 休憩

**【I-02】** データ科学を利用した新触媒設計

北海道大学触媒科学研究所

鳥屋尾 隆

**【I-03】** 結合量子ドット(人工分子)の電気伝導特性

日本大学工学部

羽田野 剛司

**【I-04】** 幾何学的位相に基づく THz 波制御素子の開拓

東北大学大学院理学研究科

大野 誠吾

16:00~16:10 休憩

16 : 10～17 : 10 一般講演（発表 10 分，討論 4 分，交代 1 分。下線：学生講演賞対象講演）

【O-01】 高分解走査トンネル顕微鏡（STM）観察のための Cr/MgO 探針の作製および評価

（北大情報科学院）○山田雄貴，Subagyo Agus，小野裕太郎，石原江湖，渡邊連，八田英嗣，末岡和久

【O-02】 プラズマ化学気相成長法により作製した Si および N 添加 DLC/Si ヘテロ接合の電気的特性

（弘前大院理工）○佐々木祐弥，山崎雄也，佐々木駿，鈴木裕史，遠田義晴，小林康之，中澤日出樹

【O-03】 SiC 表面の低温減圧下における熱酸化反応

（弘前大院理工）○佐藤聖能，片山遼哉，室野優太，遠田義晴

【O-04】 Zr 系金属ガラスの熱処理による表面発色と元素組成

（弘前大院理工<sup>1</sup>，Orbray<sup>2</sup>）○鷺拓未<sup>1</sup>，砂子一輝<sup>1</sup>，藤岡巧<sup>1</sup>，遠田義晴<sup>1</sup>，富樫望<sup>2</sup>

17 : 10～17 : 30 休憩

17 : 30～18 : 30 ポスター講演

【P-01】 分子動力学を用いた高分子の振動スペクトルの簡易計算法の開発

（北大工）○島田敏宏，楊 笑然，横倉聖也

【P-02】 イオン置換による K イオン含有の酸化チタンナノワイヤーの作製

（東北学院大<sup>1</sup>，東北大<sup>2</sup>，九大<sup>3</sup>）○桑野聡子<sup>1</sup>，長門潤哉<sup>1</sup>，成田圭佑<sup>1</sup>，遠藤宏大<sup>1</sup>，藤田健希<sup>1</sup>，鈴木仁志<sup>1</sup>，大村和世<sup>2</sup>，野村明子<sup>2</sup>，千星聡<sup>2</sup>，吉年則治<sup>2,3</sup>

3月7日（火）9：00～11：40

9：00～10：30 招待講演（30分）

【I-05】 界面振動分光法で見る，気液・固液の電荷状態とイオン環境

弘前大学大学院理工学研究科

関 貴一

【I-06】 振動ポラリトン状態を利用した水の物性制御

北海道大学大学院理学研究院

福島 知宏

【I-07】 ナフタレンフラックス法による有機単結晶育成と界面分極により駆動する有機デバイス

北海道大学大学院工学研究院

横倉 聖也

10：30～10：40 休憩

10：40～11：25 一般講演（発表10分，討論4分，交代1分。）

【O-05】  $\alpha$ -Al<sub>2</sub>O<sub>3</sub> (0001) 表面の高温エッチングダイナミクス

（東北大院工）石崎ゆり，丸山伸伍，○松本祐司

【O-06】 パターソンマップ手法による Si (110) 3x2-Sb 表面構造の決定

（東北大多元研）○リハクガン，青山大晃，虻川匡司

【O-07】 表面フォノン放射を利用したテラヘルツ波発生における共振モードの解析

（日大工）○清田将生，四方潤一，大野誠吾，俵毅彦

11：25～11：40 閉会挨拶および受賞者発表

日本表面真空学会東北・北海道支部副支部長（北大工）

島田 敏宏

## オンラインでの参加方法（発表者、聴講者）

※**口頭発表者**：発表の時間の15分前までにはZoomに入室し、カメラとマイクはOFFにして待機ください。講演の順番になりましたら、座長の指示にしたがって発表資料の画面共有を行いカメラとマイクをONにして発表してください。

※**ポスター発表者**：トップページに研究全体のサマリー（1ページポスター）を示した10枚以内のスライドをご準備ください。当日、指定のポスター番号のブレイクアウトルームにご案内します。トップページのサマリーを画面共有して待機ください。聴講者が入室しましたら、適時、スライドのページを送りながら発表を行ってください。カメラとマイクを常時ONにして発表をお願いします。

※**聴講者**：口頭講演中は、原則カメラとマイクはOFFにしたままをお願いします。質問は、質疑時間にマイクをONにして、所属とお名前を述べてから座長の指示にしたがって発言ください。ポスター講演では、適時マイクをONにしてご発言ください。

---